

## 最近の管内経済概況

(2022年8月の経済指標を中心として)

～ 持ち直しの動きに弱さがみられる ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、弱含みとなっている。
- 個人消費は、一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる。
- 観光は、持ち直している。
- 公共工事は、減少した。
- 住宅建設は、一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる。
- 民間設備投資は、増加している。
- 雇用動向は、緩やかに持ち直しの動きがみられる。
- 企業倒産は、件数は増加、負債総額は減少した。

全体として、管内経済は、持ち直しの動きに弱さがみられる。

なお、先行きについては、新型コロナウイルス感染症の影響、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※ 下線部は、前月から判断を変更した部分。

2022年10月18日

照会先 : 経済産業省 北海道経済産業局  
総務企画部 企画調査課  
T E L : 011-709-2311 内線 2525  
E-mail : hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp  
U R L : <https://www.hkd.meti.go.jp>

# 管内経済概況判断の推移

(2022年10月現在)

発表月	2022年5月	6月	7月	8月(※)	9月(※)	10月	前月との判断比較
総括判断	持ち直しの動きに弱さがみられる(↗)	持ち直しの動きがみられる(↗)	持ち直しの動きに弱さがみられる(↘)	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	
生産活動	持ち直しの動きがみられる(↗)	持ち直しの動きがみられる	弱含みとなっている(↘)	弱含みとなっている	弱含みとなっている	弱含みとなっている	
個人消費	持ち直しの動きに弱さがみられる	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる(↗)	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	
観光	一部に持ち直しの兆しがみられる(↗)	一部に持ち直しの兆しがみられる	一部に持ち直しの兆しがみられる	緩やかに持ち直している(↗)	持ち直している(↗)	持ち直している	
公共工事	増加している	減少している(↘)	減少している	減少した	増加した(↗)	減少した(↘)	
住宅建設	弱まっている	弱まっている	弱い動きとなっている(↘)	弱い動きとなっている	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる(↗)	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	
民間設備投資	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	
雇用動向	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	緩やかに持ち直しの動きがみられる(↗)	
企業倒産	件数、負債総額とも増加している	件数、負債総額とも増加している	件数、負債総額とも増加している	件数、負債総額とも増加した	件数は同数、負債総額は減少した	件数は増加、負債総額は減少した	

(※) 8月(6月指標)及び9月(7月指標)については、10月に発表。

注：下線部は、前月から判断を変更した部分。

上方修正 据え置き 下方修正

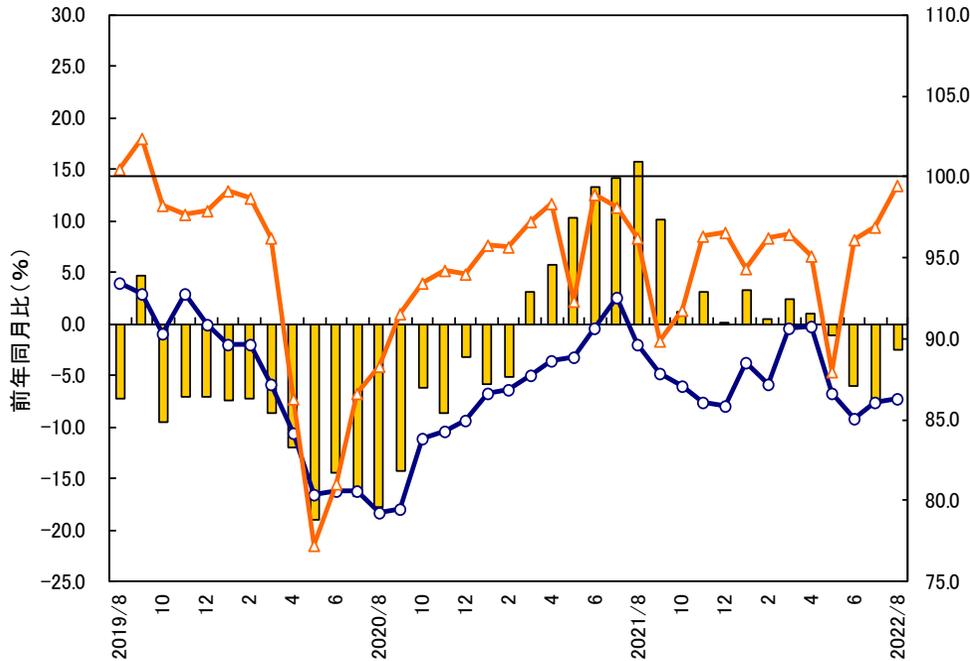
# 生産活動 ～ 弱含みとなっている ～

8月の鉱工業生産は、前月比+0.2%と2か月連続で上昇した。前年同月比は▲2.5%と4か月連続で低下した。上昇業種は、金属製品工業など8業種となった。低下業種は、一般機械工業など7業種となった。

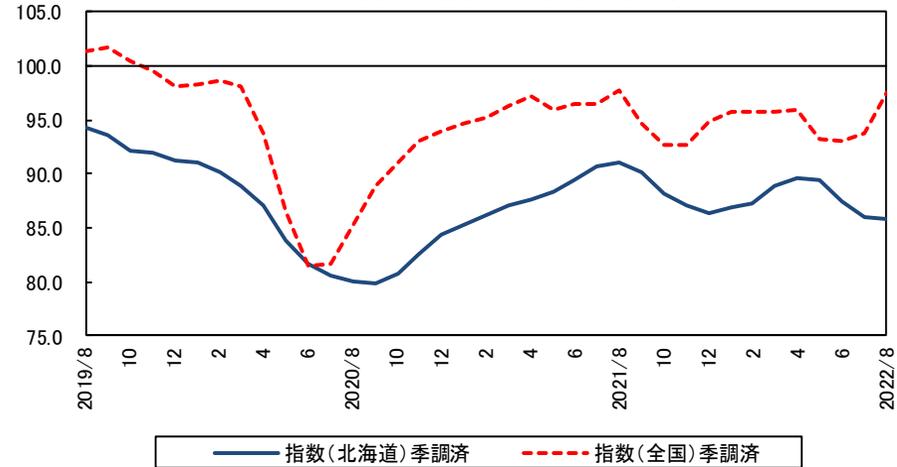
< 8月 >	
季節調整済指数	
北海道 (速報)	86.3 (前月比+ 0.2%)
全国 (速報)	99.5 (前月比+ 2.7%)

	業 種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	主な品目
上昇 8業種	金属製品工業	+ 15.0	▲ 9.0	橋りょう
	化学・石油石炭製品工業	+ 11.6	▲ 5.1	化学・石油石炭製品
	電気機械工業	+ 8.9	▲ 4.4	電子部品
低下 7業種	一般機械工業	▲ 12.5	▲ 1.9	一般機械

鉱工業生産指数 (2015年=100.0)



鉱工業生産指数の推移(3ヶ月後方移動平均)



(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

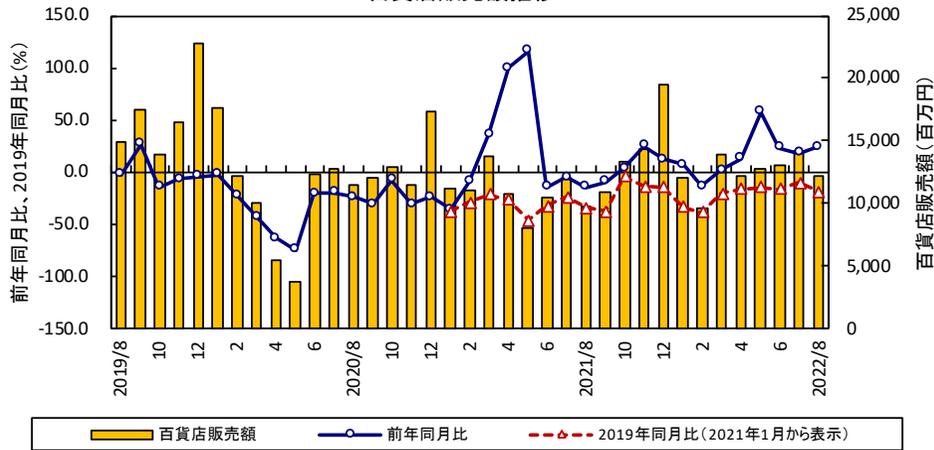
# 個人消費 ～一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる～

8月の個人消費は、百貨店、コンビニエンスストア、ドラッグストアは前年を上回り、他の4業態は前年を下回った。

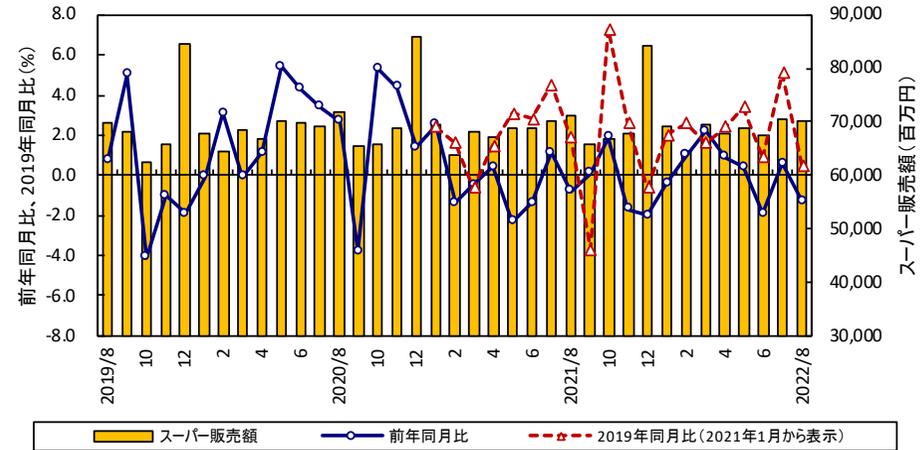
※2019年同月比は、北海道経済産業局「北海道百貨店・スーパー販売動向」掲載の販売額などから算出。

- ・百貨店は、全体的に売上げが好調で、前年同月比+24.2%（2019年同月比▲18.7%）と6か月連続で前年を上回った。
- ・スーパーは、衣料品の売上げが好調だったものの飲食料品が不調で、同▲1.3%（同+0.5%）と2か月ぶりに前年を下回った。
- ・コンビニエンスストアは、同+5.3%（同+1.0%）と10か月連続で前年を上回った。

百貨店販売額推移

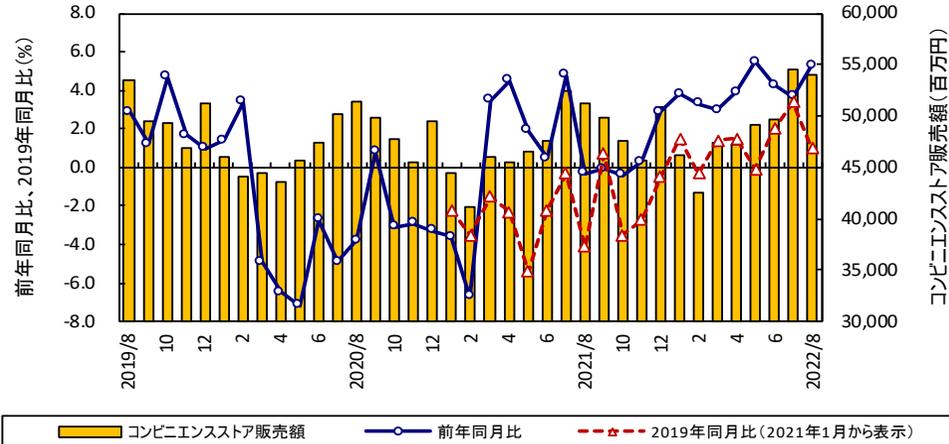


スーパー販売額推移



※2020年3月に対象事業所の見直しを行ったスーパーの2020年2月以前の販売額については、整合性を図るため調整済み。

コンビニエンスストア販売額推移

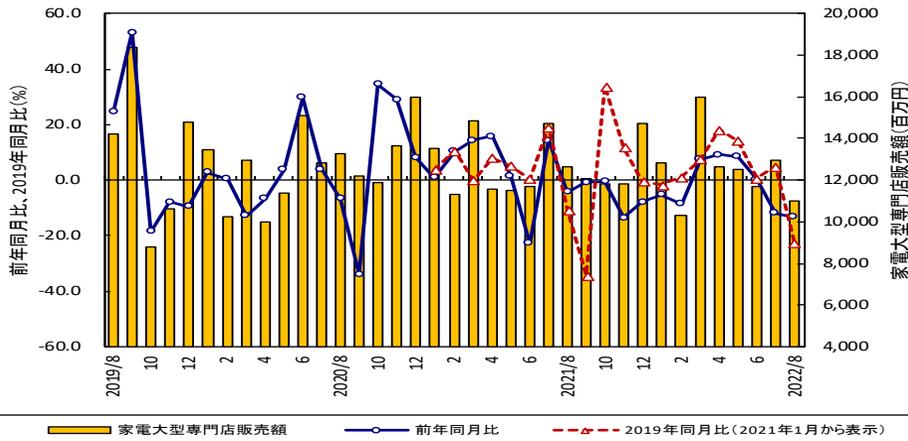


## 【ヒアリング内容】

- ・行動制限がなく外出の機会が増えていることから、売上げ及び客数が好調だった。お盆の時期は道外からの旅行客も多く、お土産用のお菓子の売上げが良かった。ブランド品などの高額商品は堅調に推移している。（百貨店）
- ・行動制限がなく外出の機会が増えていることから、引き続き浴衣などの売上げが好調だった。一方で、前年の巣ごもり需要の反動のほか、旅行などの外向き消費が増えていることから、飲食料品の売上げが前年を下回った。（スーパー）
- ・新規感染者数が増加したものの、新たな行動制限が求められず多くのイベントが開催されたこともあり、観光地や札幌市中心部の売上げが好調だった。特にお盆の時期は道外からの旅行客が増え、同地区の売上げが伸びた。（コンビニエンスストア）

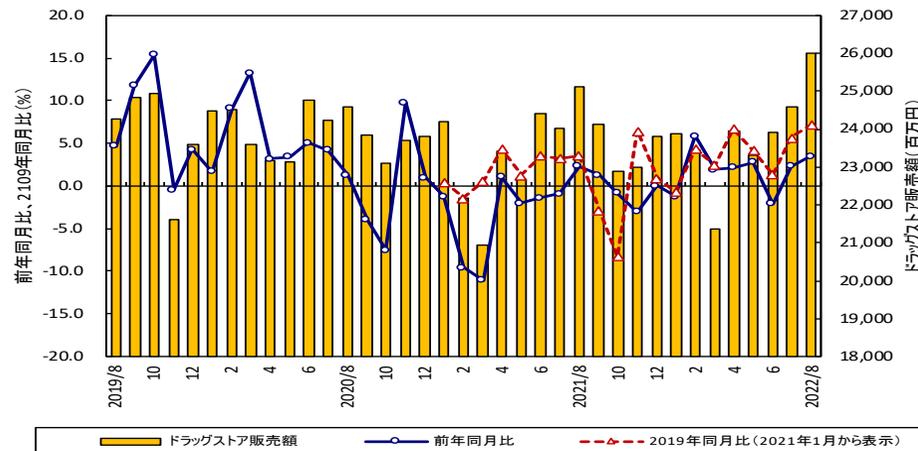
- ・家電大型専門店は、同▲13.2%（同▲22.5%）と2か月連続で前年を下回った。ドラッグストアは、同+3.5%（同+7.2%）と2か月連続で前年を上回った。ホームセンターは、同▲2.0%（同▲2.9%）と4か月連続で前年を下回った。
- ・新車販売は、同▲6.6%（同▲20.7%）と14か月連続で前年を下回った。

家電大型専門店販売額推移



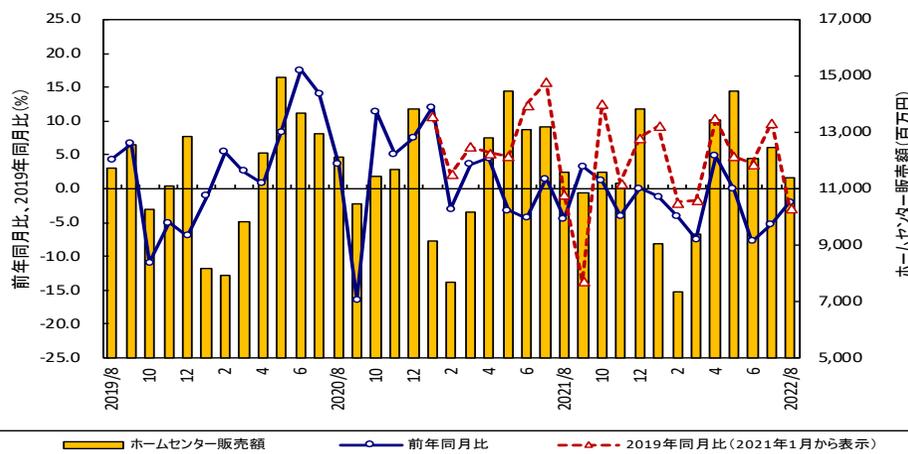
(資料：北海道経済産業局)

ドラッグストア販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

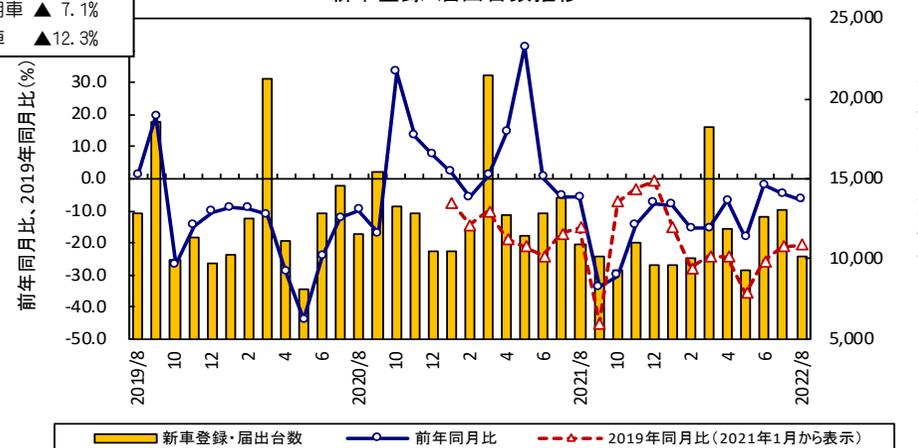
ホームセンター販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

< 8月 >  
 普通乗用車 ▲ 1.3%  
 小型乗用車 ▲ 7.1%  
 軽自動車 ▲ 12.3%

新車登録・届出台数推移



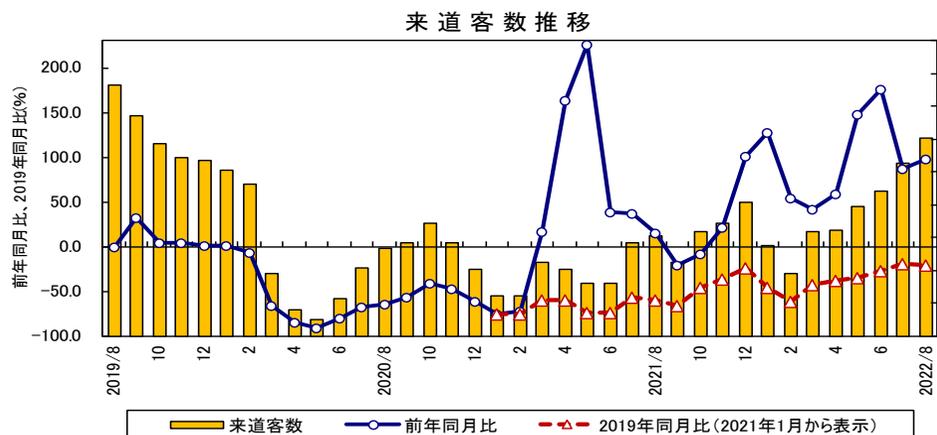
(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

【ヒアリング内容】

- ・前年売上げが好調だったエアコンの反動のほか、旅行などの外向き消費が増え、客数が減少したことから、売上げが前年を下回った。（家電大型専門店）
- ・引き続き外出の機会が増えていることから、化粧品の売上げが好調だった。また、新規感染者数の増加に伴い自宅療養者も増え、解熱鎮痛剤など医薬品の売上げが伸びた。（ドラッグストア）
- ・旅行などの外向き消費が増えていることから、前年好調だった電動工具など高単価のDIY関連用品の売上げが良くなかった。（ホームセンター）

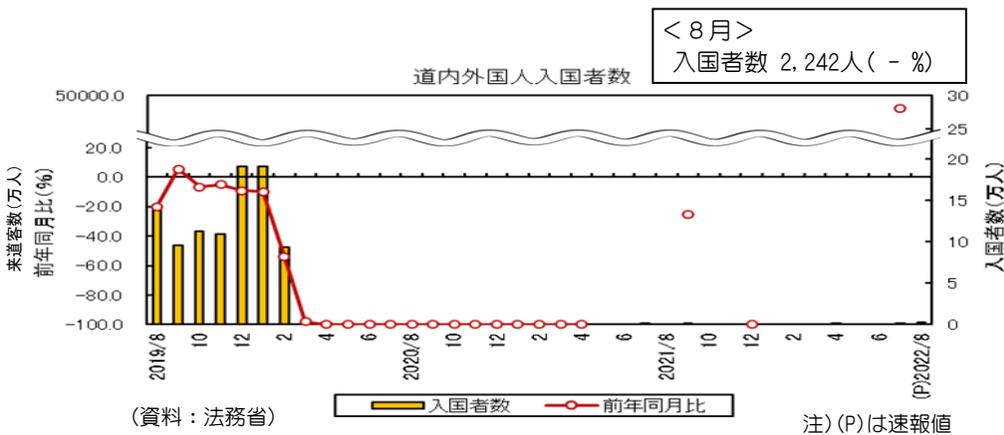
# 観光 ～ 持ち直している ～

8月の来道客数は、前年同月比+97.4%（2019年同月比▲21.3%）と10か月連続で前年を上回った。また、道内外国人入国者数は、2,242人であった。



< 8月 > 来道客数 1,205,170人 (+97.4%)  
 ※北海道外から航空機（国内線）、JR（北海道新幹線）、フェリーを利用して来道した旅客数。  
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

(資料：(公社)北海道観光振興機構)

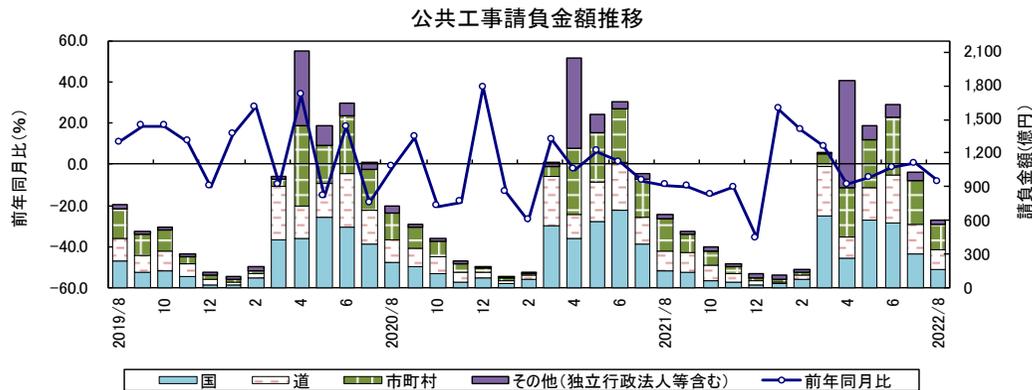


【ヒアリング内容】

- 8月は、3年ぶりに行動制限のない夏休みやお盆休みとなったため、関東を始め道外からの旅行者が多く、宿泊施設の稼働率も一定程度まで回復している。一方、外国人旅行者は少なく、本格的な回復はまだ先になると思われる。9月は、シルバーウィークを中心に宿泊予約も好調で満室となる宿泊施設もあった。(観光協会)

# 公共工事 ～ 減少した ～

8月の公共工事請負金額は、国は前年を上回ったが、道、市町村が前年を下回り、前年同月比▲8.6%と2か月ぶりに前年を下回った。



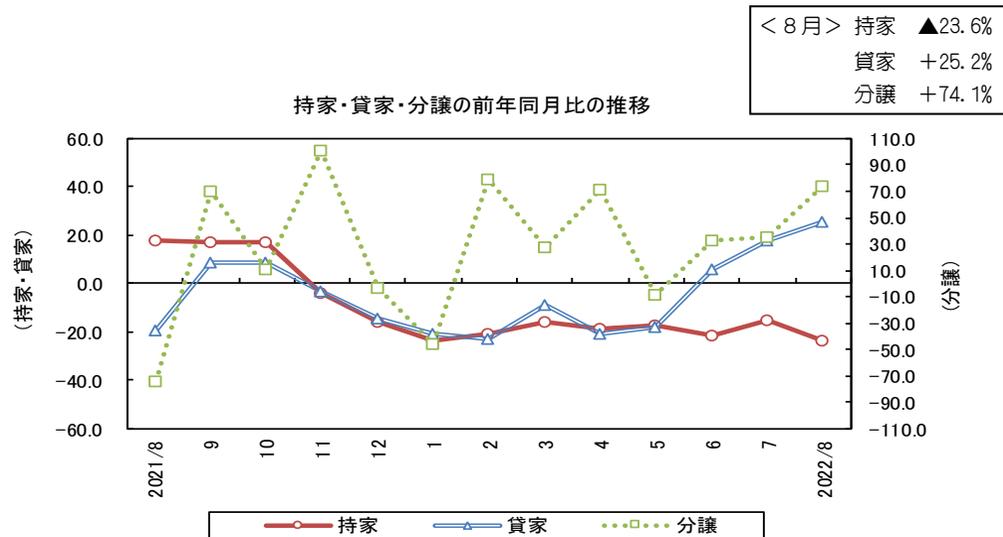
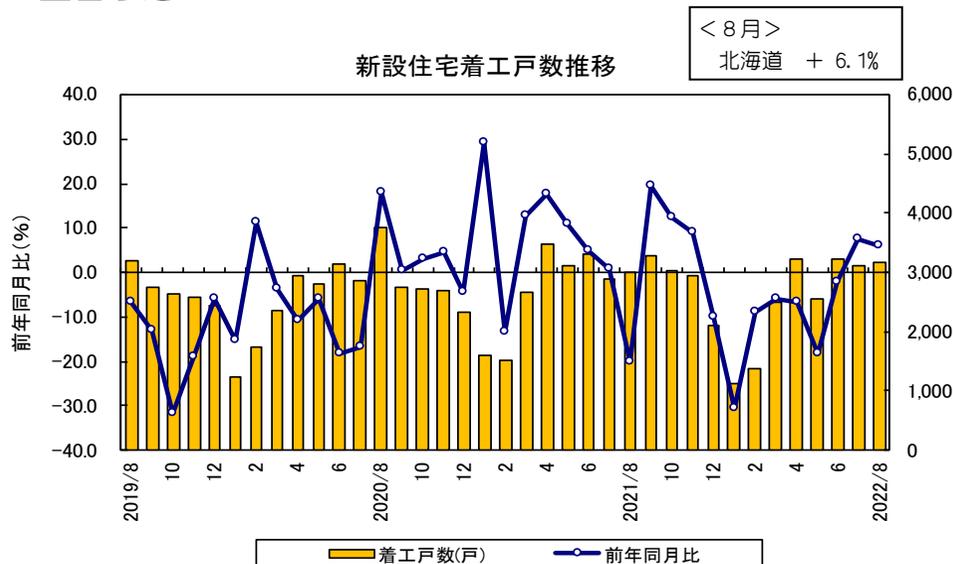
< 8月 >  
 北海道 ▲ 8.6%  
 (内訳)  
 国 + 9.0% 道 ▲ 6.1% 市町村 ▲ 20.3% その他 ▲ 3.2%

(請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額)

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

# 住宅建設 ～ 一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる ～

8月の新設住宅着工戸数は、持家は前年を下回ったが、貸家、分譲が前年を上回り、前年同月比+6.1%と2か月連続で前年を上回った。



(資料：国土交通省)

# 民間設備投資 ～ 増加している ～

2022年度の設備投資計画は、全体で前年度比+12.8%と3年ぶりに前年度を上回る計画となっている。

## 日銀短観の設備投資動向

2022年10月3日発表

	2021年度	2022年度
北海道	▲ 5.5%	+ 12.8%
製造業	▲ 37.0%	+ 42.3%
非製造業	+ 13.2%	+ 3.6%
全国	▲ 0.8%	+ 16.4%

注) 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

注) 北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

## 法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2022年9月13日発表

	2021年度	2022年度
全産業	▲ 19.5%	+ 34.3%
製造業	▲ 19.2%	+ 43.1%
非製造業	▲ 19.6%	+ 32.1%

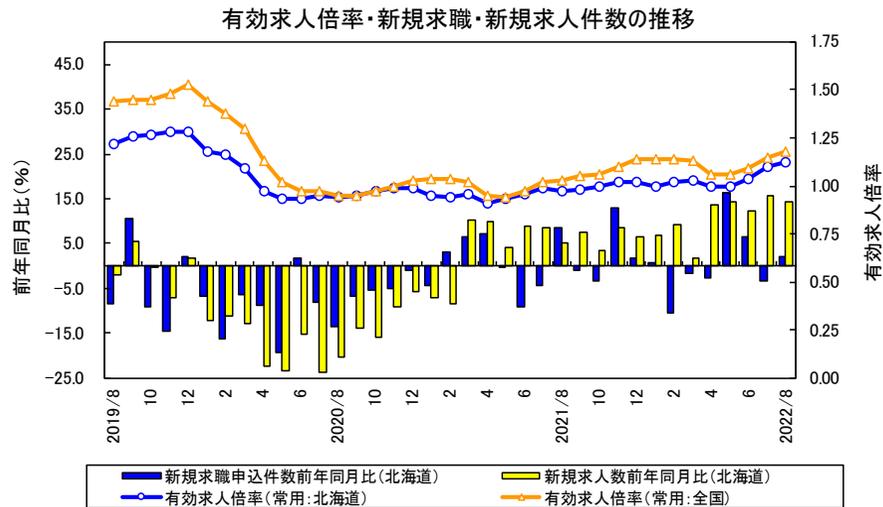
※数値は対前年比増減率。

注) ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

# 雇用動向 ～ 緩やかに持ち直しの動きがみられる ～

8月の有効求人倍率は、1.12倍と前年同月差0.15ポイント上昇し、15か月連続で前年を上回った。

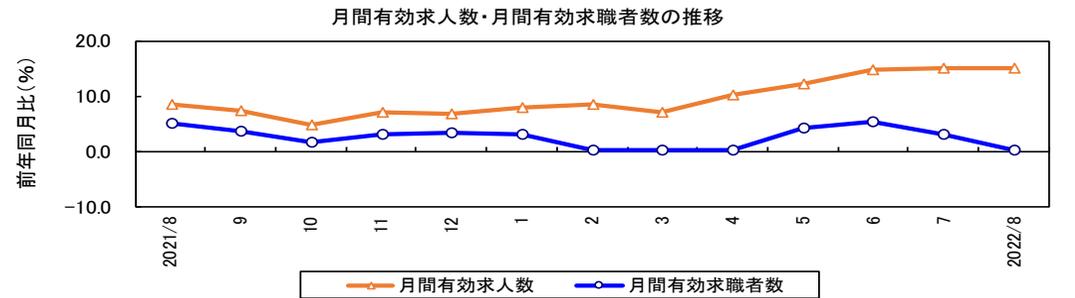


< 8月 >

北海道	有効求人倍率(常用)	1.12倍
	新規求人数(前年同月比)	+14.2%
	新規求職申込件数(前年同月比)	+2.0%
全国	有効求人倍率(常用)	1.18倍

< 8月 >

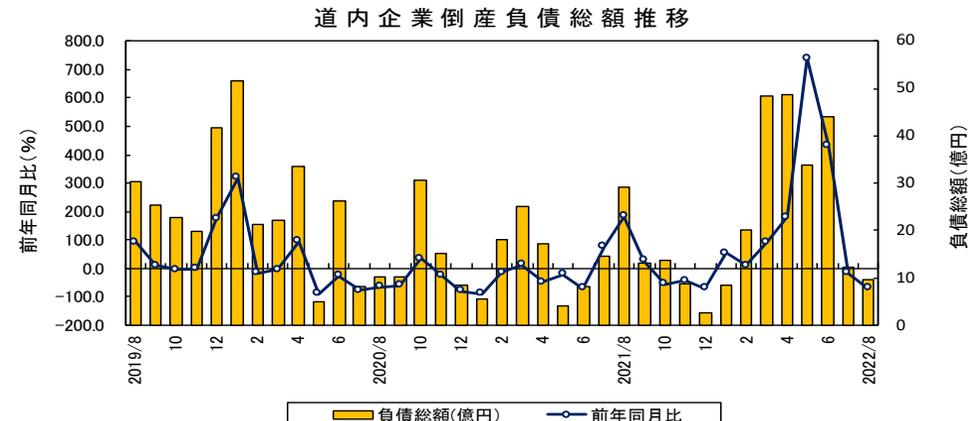
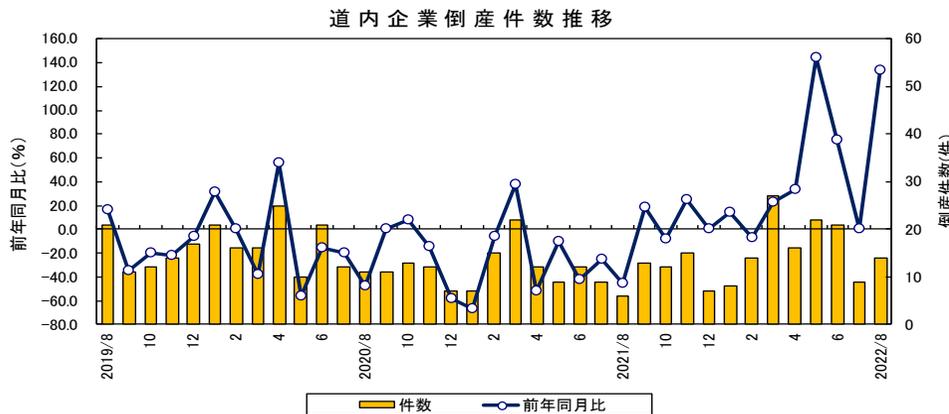
月間有効求人数(前年同月比)	+15.3%
月間有効求職者数(前年同月比)	+0.2%



(資料: 厚生労働省、北海道労働局)

# 企業倒産 ～ 件数は増加、負債総額は減少した ～

8月の倒産件数は14件で、前年同月比+133.3% (8件増) と2か月ぶりに前年を上回った。また、負債総額は9億円で、同▲69.0%と2か月連続で前年を下回った。



(資料: (株)東京商工リサーチ)